



2025年3月発行
社会福祉法人ありのまま舎

(障害者自立企画)

発行責任者 白 江 浩
編集 佐 藤 環

〒982-8544

仙台市太白区西多賀4丁目19-1

TEL 022 (243) 1300

<http://www.arinomama.or.jp/>

E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

1976年2月25日 第3種郵便物認可(毎週4回・火・木・金曜日発行)
2025年3月14日発行 SSKO通巻11851号

感染症対策

— 令和6年度を振り返って —

令和6年4月1日より法人の感染症対策が一部緩和になりました。通院以外の外出は制限がなくなり、間以内でご家族以外の方(ご友人、ヴォランティアさん等)と面会ができるようになりました。また、入居者の方でコロナウイルス感染者はなく、またクラスター発生もありませんでした。外部から来られる方についても少しでも体調がすぐれない時は面会を控えられたり、日中活動を利用される方は日頃から体調のご報告を丁寧に行っていたいただき、情報共有をしながらご対応いただきました。おひとりおひとりの基本的な感染対策(うがい、手洗い、手指消毒、体調管理等)のお陰と思っており、入居者やご家族の皆様には深いご理解とご協力に大変感謝しております。一部感染症対策はありますが、病気の恐ろしさ、病原のリスクは以前と変わらず、後遺症のことも考えると安易にすべてを緩和することはできません。

これまで通り感染対策をとりつつ、しっかり実態を把握し、過剰な対策にならないように十分気を付けて対応していきたいと思います。



【法人本部受付時間

につきまして】

2025年4月1日より法人本部事務所(太白区西多賀)は土・日・祝はお休みをいただきます。バザー品のお持ち込みやお電話でのお問い合わせは平日にお願いいたします。

受付 月～金(祝祭日を除く)
9:00～18:00

- ◆ ありのままショップは火・木・金・土(10:30～12:00)営業
- ◆ 自立ホームへの面会は定休日問わず9～18時です。

薫る風

三月十一日を前に防災に関する報道が増え、東日本大震災の記憶が蘇る。風化させてはならない震災の記録と、忘れたくない惨劇、そして忘れられない思いが交錯する。記憶から読み取る防災減災への取り組みと対策は、どこまでできているのだろうか。私自身を顧みて、様々な機会を通して防災減災対策の重要性和、教訓から得られた備えを進めつつ、どこかで大地震への「切実さ」が薄れてきたように思う。能登半島地震は1年2カ月前の話なのに・・・。施設では3月に毎年防災訓練を行っているが、今年は震災・火災・風水害の訓練を行うことにした。連続的にタイムラインに沿って、実際行動してみようと計画してもらった。訓練(シミュレーション)は自分自身への警告になるが、同じ訓練を繰り返す意義と情性化する弊害のバランスを考えながら訓練することにした。万全の備えという言葉があるが、そこに落とし穴がありそうで、備えを強化し、対策もそれなりに取ってきた心の緩みのような感覚がある。準備をすればするほど、不安になった時期もあった。いつからか、それが過信や心の緩みになってきたように思う。仙台市も来年度から指定福祉避難所の指定と対策を始める。先般担当者の方が来て、そのための事前調査と打合せ確認を行った。亘理町では既に三年前に指定を頂いて昨年は訓練も行った。個別避難計画に基づく避難など、障碍のある人の防災・避難・被災後の仕組みやスキームが整いつつあるが、生命を守り切るための準備を起動させるにはまだまだ十分とは言えないし、恐らくどこまでやっても不安はぬぐえないのだろう。十四年を経過して、私自身も防災に対する大きな転換点にあるような気がする。常に緊張感を持ち続けるのは難しい。だからこそ改めてあの日をしつかり振り返りたい。

(白江浩)

令和 7 年度

第 36 回ありのまま生活福祉講座

第 25 回ありのまま自立大賞授賞式 (最終回) のお知らせ

令和 7 年度の「ありのまま生活福祉講座」と「ありのまま自立大賞」の日程が決まりました。

福祉講座では座長の杉子女王殿下、自立大賞では選考委員長の瑠子女王殿下にご指導を賜り進めています。

今後とも会報「自立」等を通じてお知らせしていきたいと思ひます。

【第 36 回ありのまま生活福祉講座】

令和 7 年 6 月 8 日 (土)

13 時半～16 時

場所 中小企業活性化センター

多目的ホール (アエル内)

講師 小林一彦氏

(京都産業大学文化学部)

京都文化学科 教授

講師 伊藤眞波氏

(義手のヴァイオリン奏者・元パラリンピック水泳選手)



昨年の福祉講座

【第 25 回ありのまま自立大賞授賞式】

令和 7 年 7 月 23 日 (水)

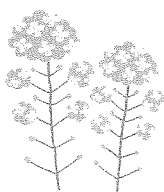
14 時～15 時

場所 中小企業活性化センター

多目的ホール (アエル内)

【自立大賞休止について】

第 25 回をもって一旦休止とさせていただきます。SNS 等が普及しご自身で発信される方が増え、自ら発信できない方が発掘していくという自立大賞の目的の一つが果たされ、継続する意義も含め検証の必要性を感じています。また被推薦者の減少や分野等も偏りが見られるなど四半世紀前と状況も変化して参りました。今後は未定ですが、一旦 25 回の節目に締めくくり (最後) として開催させていただきたいと思ひます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



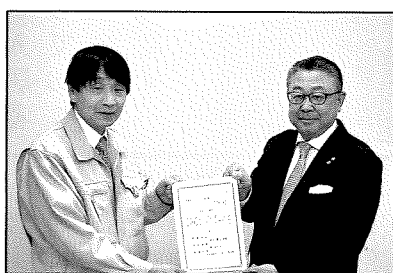
MDRT Foundation on Japan 様より

「寄付の贈呈をいただきました。」

MDRT Foundation on Japan 様は各生命保険会社の方が会員となられ 2009 年に発足した団体です。社会貢献活動とその活動への参加の意義を醸成させ、普及を図っておられ、日本全国で有意義で広域的な活動を展開している慈善団体に対し、助成金 (グラント) を贈るプロジェクトを長年続けておられます。

この度、太白ありのまま舎が受賞を受け、医務室の処置台 1 台とケアのハンディナース 2 台を購入いたしました。太白ありのまま舎で贈呈式が行われ、ご

寄付いただいた会員の吉田康之様より直接贈呈いただきました。皆様のお気持ちに感謝し、大切に活用させていただきます。ありがとうございました。



白江理事長と吉田康之様
(ブルデンシャル生命株式会社)

社会福祉法人 ありのまま舎 殿

2024 年 11 月 吉日

2024 年度 MDRT Foundation-Japan 委員長 渡辺 洋史
グラント・ユニットリーダー 内倉 正徳

2024 年度 QOLG 選定について

拝啓 深敬の候、貴団におかれましてはご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より、MDRT 日本会及び MDRT Foundation-Japan におきまして格別のご厚遇とご支援を賜り誠にありがとうございます。
さて、先般ご応募いただきました 2024 年度 QOLG について、慎重に選定しました結果、受賞と団体さへへの助成が決定いたしました。ここに通知申し上げます。
敬具

記

1. 受賞会員

吉田 康之 会員

2. 助成金額

金 200,000

3. 受賞団体

社会福祉法人 ありのまま舎

レンタカー・カーリースのご用命は

トヨタレンタリース宮城

本社 / 仙台市宮城野区宮千代 2-13-3 電話 022-283-0100

リース支援室 / 仙台市宮城野区日の出町 2-3-7 電話 022-283-0108

本 司	店 022-224-0100	卸 司	店 022-237-0100	仙 台 空 港	店 0223-22-0100	新幹線くりこま高野駅前	0228-21-2100
交 通 局 前	店 022-221-0100	高 砂	店 022-254-0100	名 取 駅 前	店 022-381-0100	石 巻 駅 前	0225-21-7007
仙 台 駅 西 口	店 022-213-0100	鹿 野 2 8 6	店 022-246-0100	新 幹 線 白 石 蔵 王 駅 前	0224-22-0252	石 巻	0225-22-0100
仙 台 駅 東 口	店 022-293-0100	泉 中 央 駅 前	店 022-372-0100	新 幹 線 古 川 駅 前	0229-23-0100	気 仙 沼	0226-22-0100

新型ヴォクシー (車いす仕様・電動スロープ車)
その他ウェルキャブもラインナップしております。



仙台エリア

【ホームケア仙台ありのまま舎
リビングセンター】

自立ホームが開所して今年で38年になります。先日、ホームで地域連携推進会議を行いメンバーの皆様に見学のご感想を伺うと「38年もたつのにとても綺麗だと感じました。」「中はモダンな印象がして素敵でした。」「というお言葉をいただきました。しかしながら、様々な部分で修理が多くなっており、特に冬になるとホーム内の設備が壊れたり不具合が多くなります。年度末と重なるため毎回修繕費の残りの予算を確認しながら修理を行っています。今回も居室ストープの灯油漏れや浴室用のボイラーポンプからの水漏れがあり修理が重なりました。金額を見ると数年前より人件費や部材が高騰していて修繕費がかさんでいく一方です。

(佐藤環)

茂庭台エリア

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎】

東北ブロック身障協防
コミュニケーション
2月18日(火)

東北ブロック身体障害者施設協議会では、様々な災害時に備えてお互いに協力し合える体制が取れるよう防災協定を締結し、その一環として防災コミュニケーションを行っています。

協議会は東北6県の障害者支援施設56施設で構成し、太白ありのまま舎がその事務局を担っており、今年度2回目の防災コミュニケーションを実施しました。今回は福島県沖を震源とする震度6強の地震が発生し、福島県の「カンナ村様と野の花ホーム様」に協力いただき、施設に土砂が流入したことを想定してのコミュニケーションを行いました。

本日に発生したことを想定しながら、東北各加盟施設へ人的被害や建物の被害、ライフラインの状況、必要な支援は何か、など可能な限り早く情報伝達ができるよう、電話・FAXやメール等を活用し、支援の調整など行なったりします。(あくまでコミュニケーションです)

訓練とはいえ、支援物資や支援人員の調整など、正確な情報を東北6県の加盟施設へいち早く

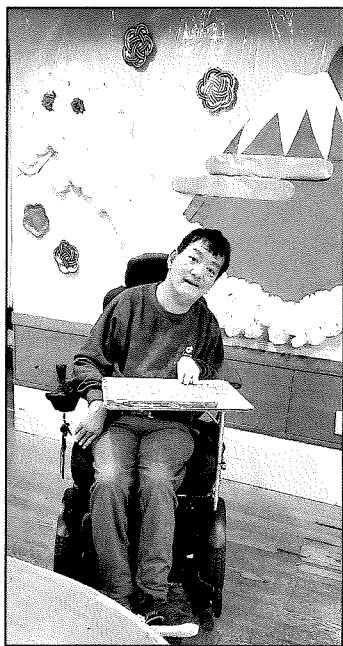
く伝達共有するのは、緊張しながら皆で対応していきます。このような訓練の積み重ねが、万が一の備えに繋がると思い取り組んでいます。

(嶺岸智)

【太白ありのまま舎
セクション ケア】

今年は巳年で太白ありのまま舎では、2階スタッフルーム前で、蛇と富士山の飾り付けを行い、入居者や来舎された方々に見て頂き、大変喜んでいただきました。また、飾り付けの前で記念写真を撮影し、良い思い出として頂きました。

1階スタッフルーム前でも、かまくらや雪だるま等、冬の装いとして飾り付けを行い、こち



2階スタッフルーム前の
蛇と富士山

らも入居者や外部の方々に見て頂き楽しんでいただきました。飾り付けを準備する際にも、スタッフが作業している様子を入居者をご覧になり、「何が出来るのか楽しみ。」とのお声もあり、より一層良い物に仕上げたいと思います。また、作成出来ました。まだまだ寒い日が続く、外出が出来ない中ではありますが、施設の中でも四季を感じて頂ける様、入居者や外部の方々楽しんで頂ける様に創意工夫して今後も企画を考えていきたいと思っています。

(佐藤涼太)

医療法人社団静実会

【法人理念】「やさしさと気配りをもって、赤ちゃんからお年寄りまでを診る地域の家庭医を目指します。」を念頭に「住み慣れた町で、なじみの関係を大切にその人らしく自由に生活していただく」を推進します。

地域連携室 TEL: 022-796-6590 FAX: 022-796-6538

ないとうクリニック(内科・小児科・リハビリテーション科・訪問診療・通所リハビリ)

TEL: 022-281-5490 FAX: 022-281-5491 (ないとうクリニック)

TEL: 022-796-6943 FAX: 022-796-6944 (通所リハビリ)

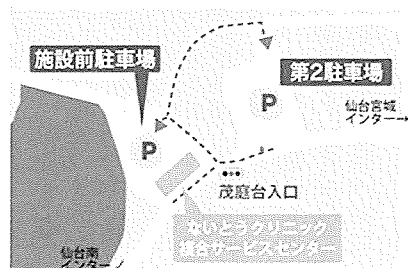
ないとうクリニック訪問看護ステーション

TEL: 022-796-9320 FAX: 022-796-9321

かがやき TEL: 022-796-6957 FAX: 022-796-6958

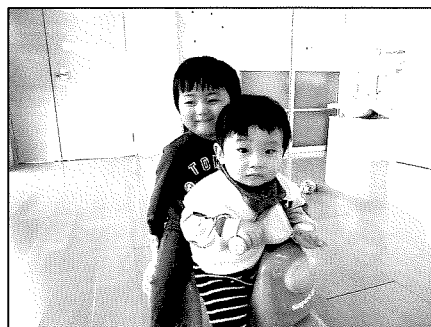
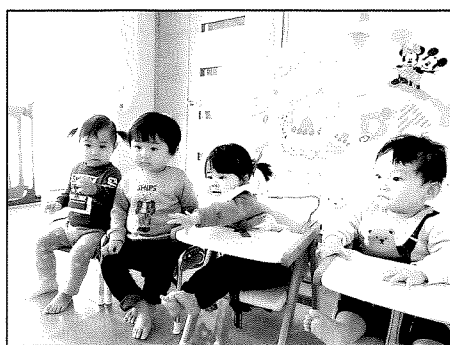
ないとうクリニック居宅介護支援事業所

TEL: 022-796-1871 FAX: 022-796-1872

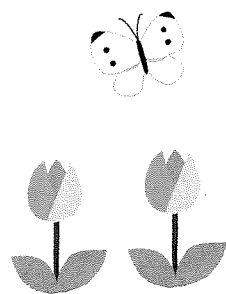


【チャイルドケア仙台ありのま舎保育園】

もう一度は大雪が降りそうな空気が感じられるこの頃ですがあつという間に三月となり、新たな出会いと旅立ちの季節です。生後六ヶ月から入園し、三歳となり転園するお友だちは、たくましく穏やかに成長しました。ずり這いから四つ這いになった、歩いた、走った、離乳が完了した、着替えができるようになった、でもやりたくない等、一進一退を繰り返しながら日々を慌ただしく過ごしているうちに、もう三歳なのか、三年がたつのかと時の流れの早さに驚いています。



1年間、仲良くたくさん遊びました



名取エリア

【サポートケア名取ありのま舎
【難病・障害者相談支援センター】

今月は精神障害のあるSさんにインタビューしました。Sさんは就労移行支援事業所で訓練をした後、障害者枠の一般就労に就き、現在は就労定着支援を受けながら仕事に取り組みられています。

①マイブームについて

ポケモンゲームを楽しむことです。職場から帰宅してからゲームを楽しむことが多いです。目標はオンライン大会で成績を残すことです。

②ほっとする時間

お風呂に入っている時はほっとします。湯舟の中でポケモンゲームの攻略方法を考えた、仕事の振り返りをします。

③今後の希望について

色々なことに挑戦してみたいです。現在、料理を覚えており、もっとレパートリーを増やしていきたいと思っています。また、体力をつけたいので、運動にも取り組みたいと思っています。

ダブルチェックをして、ミスを防ぎながら黙々と仕事をこなしているSさんは職場での評価が高いです。今後もご本人が余暇を楽しみながら就労生活が継続できるよう、サポートしていきたいです。
(澤田石裕子)

亘理エリア

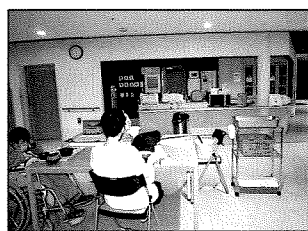
【難病ホスピスケア亘理ありのま舎
【ケア】

ありのま舎も今年3月で7年目を迎えます。数名から始まり、今では満床に近い状況となり、昔の事を思い出し、懐かしく感じています。

亘理ありのま舎は3ユニットあり、今回はいちごの里ユニットを紹介したいと思います。

いちごの里は医療的ケアを必要とされている方が入居されておられます。様々な難病の方が多いため、居室で過ごされる方が多く、ホールに出て来られることがあまり多くありませんが、食事の時に数名の方がホールで食事を召し上がっておられます。それぞれの体調があり、無理のないように、楽しく、明るいユニットに出来れば良いなと思っています。

ご家族の方の面会時にいちごの里の良さを知っていただけるように、これからスタッフ間で色々な提案を出し合い良い方向に展開していけたらと思います。
(菊地和歌子)



いちごの里のホール

【サポートケア亘理ありのま舎
【支援センター】

2月5日(水)に亘理町障害者等地域自立支援協議会の相談支援部会と子ども部会の合同開催がありました。今回、双方部会の年間の予定で協議のテーマが「防災」と同じ内容だったことから合同開催の実現となりました。

亘理町の防災の取り組みについて亘理町総務課から「防災マップから学ぶ防災対策」という内容で講話をいただき、参加者で防災の取り組みについて考える機会となりました。現在、防災に関する情報は紙面のみならず、アプリなどでも発信されています。講話の中で、ご自身の住まいの危険度分布の把握や防災グッズの準備だけでなく、災害が起きた時の家族の約束事(集合場所、避難場所等)を事前に決めておく大切さのお話がありました。災害が起きた時の避難の仕方については障害を抱える当事者の方は様々な不安を抱えていることを部会の中で共有しました。不安が完全に解消されることは難しいかもしれませんが、事前の準備・相談をすることで不安を軽減させることも大切です。もうすぐ東日本大震災から十四年目の節目を迎えます。私自身、防災についてしっかりと考え、準備をしたいです。
(佐藤香織)

【サポートケア県南ありのまま舎
「難病・障害者相談支援センター」】

平成 25 年 6 月の事業所開所以来委託による基本相談支援事業に携わらせていただいております。また岩沼市について、3 月 31 日をもって委託業務契約終了となりその役割を終えることになりました。事業開始当初は岩沼市全域を「ばれつ」とさとのもり「さんてらす」の両事業所と共に市内全域を支援対象として、広く障害のある多くの方々と相談対応に携わらせていただきました。その後 4 つの小学校区毎の基本相談支援に再編されたことに伴い玉浦小学校区を圏域としての事業を継続してきました。地域包括支援センターとの共同支援や、民生委員児童委員協議会にお伺いして事業紹介をさせて頂いたりして連携を模索させて頂いたりすることで小地域の支援の強化に取り組んでまいりました。岩沼市障害児者地域自立支援協議会では、生活支援部会、子ども支援部会に運営側として参画させていただき、社会福祉課、委託相談支援事業所と毎月数多くの場づくりの中で議論を重ねてきていました。

4 月以降は亘理町の委託相談支援事業に注力していくことになりましたが、事業所としての体制整備を含め課題意識を持ちながら進めて参ります。

(齋藤栄樹)

「支援頂きありがとうございます」ございました (敬称略)

【書損じはがき等】

25 1/26 ~ 2/26

【ボトルカンパ】

25 1/26 ~ 2/26

プロマート今泉店

(若林区) 476 円

(鈴木一彦)

【バザー提供】

25 1/26 ~ 2/26

2 月 5 日で閉店された、とのご連絡を頂き、本当に残念に思います。前身のフレッシュフードモリヤ様の時代から永年に亘りまして大きなお支えを頂きました事、心より感謝申し上げます。

フレッシュフードモリヤ大学病院前店 (青葉区)

15,699 円

2 月 10 日に閉店されました。多大なるご協力を頂きました事、決して忘れる事はありません。本当に有り難うございました。

フレッシュフードモリヤ

沖野店 (若林区) 6,076 円

2 月 24 日に残念ながら閉店されました。地域の皆様・お店の皆様の温かなお気持ちに心より御礼申し上げます。

フレッシュフードモリヤ

長町店 (太白区) 4,942 円

こちら 2 月 24 日に閉店されました。当舎と同じ太白区にありましたお店で、大変親身にご対応を頂きました。



(川尻誠)

(栗原市) 有限会社アルコン

【ショップ提供】

25 2/5

スーパービッグ六丁の目店

(若林区) 9,237 円

こちら 2 月 24 日に残念ながら閉店されました。長い間お支えを頂き、大きな糧となりました。心より感謝申し上げます。

【バザー開催日のご案内】

《2025 年 4 月》

1 日 (火) コクベニマル鉤取店

3 日 (木) ヨークマルシェ大和町店

8 日 (火) ヨークベニマル南吉成店

10 日 (木) 鶴ヶ谷生鮮いちば

15 日 (火) ヤマザワ茂庭店

24 日 (木) 鶴ヶ谷生鮮いちば

26 日 (土) ありのままショップセール

(仙台ありのまま舎)

29 日 (火) 袋原 (向日葵ライフ)

サポートセンター

「協力ありがとうございます」ございました (敬称略)

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付けを、仙台北高等学校 JRC 有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。

◆会報の折り込みは、日本基督教団東北教区婦人会、仙台青葉荘教会の皆様にご協力をお願いしながらお手伝いいただきました。また、自立ホーム入居者有志の皆様、体調をみながらお手伝いいただいています。

◆バザー会では、各会場でコロナ感染症予防に気を付けながらお手伝いいただいています。ショップセールの会場でも、開始準備や片付け等のお手伝いいただきました。

【太白ありのまま舎】

茂庭台ボランティアグループの皆様や、宮城県車いすダンス協会様などに協力いただいている活動については、基本的な感染対策を講じながら、活動の制限緩和をしていきたいと考えております。

だんだんと暖かくなり、春を感じる今日この頃ですが、新年度は何かと忙しい時期かと思えます。人との係りも多くなる今こそ、自分が行っている感染対策を改め、周りの方を守る意識を持ちたいと思います。

(遠藤寿子)

ありのまま舎後援会 — 会員募集中です —

前号にもご紹介しましたが、リニューアルした後援会のパンフレットです。ありのまま舎の各事業所に設置しています。

ありのまま舎への年間寄付は多い時で約400万円ありましたが、会員の高齢化に伴う減少で約200万円になり大変厳しくなっています。

本後援会入会を切にお願い申し上げます。

【年会費】

団体	20,000円
個人	10,000円
賛助会員	3,000円

◆入会継続の制限はありません。いつでも退会は自由です。長くご支援いただくと大変有難いです。

ありのまま舎後援会ご加入の流れ

ありのまま舎への年間寄付は多い時で約400万円ありましたが、近年の会員の高齢化に伴う会員減少などで約200万円になり大変厳しくなっています。本後援会入会を切にお願いいたします。

申込書を切り取り別紙封筒（切手不要）で郵送ください。

または、a～cのいずれかの方法でお知らせください。

a 電話で知らせる tel 022-243-1300

b FAXで知らせる fax 022-243-0322

c 申込書をカメラ撮影しメールで送る houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

機関誌「自立」にお名前が載ります

事務局から領収書が届きます

ゆうちょ銀行で払込

事務局から郵便払込用紙が届く

お申込みいただいた個人情報は、「ありのまま舎後援会」の目的以外には使用いたしません。

社会福祉法人ありのまま舎をバックアップするありのまま舎後援会のご案内

Q1. ありのまま舎をご存知ですか

ありのまま舎は1975年難病「進行性筋ジストロフィー」患者の山田寛之・秀人・富也の3兄弟を中心に設立されました。この難病を知ってもらうための啓発活動を通して1986年に社会福祉法人となりました。1987年4月に民間で全国初の福祉ホームや1994年4月には難病ホスピスの設立に至り、さらに難病や障害を持った方と共に生活できる社会を目指し活動を続けてきました。社会や地域の皆様のご理解、後援会のバックアップのもと難病や障害を持った方の自己実現の場を目指しています。

Q2. ありのまま舎後援会とは何ですか

ありのまま舎設立には総裁の故郷仁親王殿下に大変ご指導を賜りました。寛仁親王殿下は、福祉活動を継続するための財産基盤の必要性和将来を見越して活動を促していくために後援会の組織づくりをご指導くださいました。そして何よりも活動への理解者をふやしていくことの大切さを熱心にご指導賜り、現在の後援会が組織されました。



『世界中に100%の障害者も100%の障害者も存在するわけではなく、人間はそれぞれ異なる部分と障害の部分を持っています。生活を送る上で、お互いが「思いやり」の心を持って、本当の意味での助け合いによって「共に生きる」ことが最も大切なことでもあります。』

Q3. 後援会が応援するありのまま舎の活動は主にどのような活動ですか？

▶ 啓発活動



【ありのまま舎生活福祉講座】
福祉を身近なものとして共に生きていく場となることを願い希望されています。



【ありのまま舎自立支援】
自立を目指し努力されている障害者や障害者を持つ方々を全国から募集し、支援しています。



【出稼活動や映画制作】
活動の原動力は思いを伝える活動です。希望者だけでなく、真実の姿を映画で伝え続けています。

その他、会報「自立」の発行、バザー会の開催など行っています。そして、難病や障害を持った方の生活の場、相談の場を運営を行っています。(次ページ)

自販機設置支援

各事業所に設置し、入居者、スタッフ、地域の皆さんにご利用いただいています。会社や個人の自宅前にも設置のご支援を頂いています。



宮城推進本部 941円

ありのまま舎（自立ホーム・太白ありのまま舎・サポートケア県南・亘理ありのまま舎）

7,748円

こくみん共済coop

◆【自販機販売設置支援】

◆サントリービバレッジ

1月分の売上の一部をご寄付頂きました。

ありのまま舎後援会（敬称略）

「ありのまま舎運営協力寄付金」
（敬称略）

24
12
／
20
／
12
／
31

1976年2月25日 第3種郵便物認可 (毎週4回月・火・木・金曜日発行)・2025年3月14日発行 SSKO通巻第11851号
 発行人 障害者団体定期刊行物協会 東京都世田谷区祖師谷3-1-17 102 編集人 ありのまま舎 (代表 白江 浩 宮城県仙台市太白区西多賀4-19-1 頒価 五〇円)

【あとがき】
 先日山形まで車で行った時、歩道の雪が1mを超えていました。仙台市内は路面の凍結等の事故は出ているものの、雪掻きしないと生活に支障が出る程の雪はありません。日本海側と太平洋側でこんなに雪の量が変わるのかと思わされます。暦では春となりました。自立ホームの庭の梅が2月半ばより咲き始めています。まだ寒い日は続きますが、植物達は春を感じているようです。

(川尻誠)

3443 三好耳鼻咽喉科クリニック

・めまいの診断・治療
 ・アレルギー、花粉症

ミナヨイ ミヨシサン
 ☎ 022-374-3443

宮城県仙台市泉区泉中央1-34-1
 地下鉄南北線 泉中央駅から徒歩8分

3443通信

検索

土・日・祝日も診療

